

## コロナウイルス文献情報とコメント(拡散自由)

2021年10月12日

予定された入院の場合、ワクチン完了者では  
抗原検査マイナスなら、PCR検査も隔離も不要

### 【松崎雑感】

ワクチン接種が進み、感染した場合の薬物療法の進歩もあり、ある程度割り切って、粛々と通常モードで医療ケアを進めようとするイギリスの動きです。同時に、環境消毒なども、割り切ってコロナ前のレベルに戻すようです。空気感染防止が強調されてきていますので、そよ風の吹く屋外で診療する的な、十分な換気のある屋内環境が実現できるなら、余計なパーティションなど不要でしょう。

予定された入院の場合、ワクチン完了者では  
抗原検査マイナスなら、PCR検査も隔離も不要

Mahase E. Covid-19: Fully vaccinated patients no longer need to test or isolate before elective procedures, hospitals are told. **BMJ**. 2021 Sep 28;374:n2383. doi: 10.1136/bmj.n2383. PMID: 34583935.

イギリスのHealth Security Agency (UKHSA)は、待機入院(救急でなく、あらかじめ予定された入院)の場合、入院当日の迅速抗原検査がマイナスならば、PCRや隔離は不要とする勧告を出した。

この勧告は、病院における新型コロナの感染、予防、管理対策向上を目的とした3つの変更点の一つである。確保すべき社会的距離も2メートルから1メートルに変更された。

待機処置と治療の行われる感染リスクの低い施設では、消毒とクリーニングレベルを平時に戻すことも勧告された。

UKHSAのジェニー・ハリーズ代表は、「この変更により、安全を確保しながら、様々なケアの必要に応じたHNSサービスをより多くの人々に迅速に行うことができる」と語った。

UKHSAは、この勧告に、物の表面に付いたウイルスが二次感染をもたらすエビデンスは低いとするWHOのスタンスを援用している。

しかし、感染防止対策が緩められた部署で働く人々はワクチン接種を完了しておく必要があり、感染者との接触を避けるようにする必要があることも指示されている。

NHS連合政策ディレクターレイラ・マッカイ氏は「この新しいガイダンスにより、稼働ベッド数が増え、患者に様々な治療を提供し、病院間の患者のやり取りをより迅速かつ効果的に行えるようになる」と語っている。

「しかし、新型コロナが消えたわけではない。NHSは、このことを十分認識しており、新型コロナとインフルエンザの襲来が予想される、来るべき冬の困難に向けて、感染の防止と管理対策を常に強化しなければならない。地域の必要に応じて、感染、予防、管理の体制を適応させる努力が必要な組織もあるだろう」